



議会だより

令和2年2月1日



盛大に開催されたHAGAグルミネーション2019

主 な 内 容

	ページ
12月定例会の概要	2～5
一般質問	6～8
研修報告	9
視察来訪	10
聲〈こえ〉私のいいたいこと	11
議会日誌・編集室	12

□編集／芳賀町議会広報常任委員会

□発行／芳賀町議会

〒321-3392 栃木県芳賀郡芳賀町大字祖母井1020

電話 028(677)6023 FAX 028(677)6057

芳賀町議会ホームページ

<http://www.town.tochigi-haga.lg.jp/menu/torikumi/gikai/index.html>

15議案を可決



令和元年 第5回 芳賀町議会 定例会

定例会の概要

令和元年第5回芳賀町議会定例会が11月29日から12月4日までの6日間の会期で開催されました。

第1日目は全議案を上程し、町長から提案理由の説明を受けました。一部議案の質疑・討論・採決と、発議案件の質疑・討論・採決を行いました。

一般質問は第5日目の12月3日に行われ、2人の議員が町政について質問しました。

第6日目は、第1日目に採決した案件を除く全ての議案の質疑・討論・採決と、各常任委員会の事務調査報告があり、閉会しました。

条例制定

□芳賀町会計年度任用職員
の給与及び費用弁償に
関する条例の制定につ
いて
(質疑・討論なし、原案可決)

□地方公務員法及び地方自治法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例の制定について
(討論なし、原案可決)

□地方公務員法及び地方自治法の一部を改正する法律の施行に伴い、会計年度任用職員制度が導入されることから、芳賀町職員の給与

条例改正

□芳賀町部課設置条例及び芳賀町立小学校通学区域審議会条例の一部改正について
(質疑・討論なし、原案可決)

□災害弔慰金の支給等に関する条例の一部改正について
(質疑・討論なし、原案可決)

□芳賀町部課設置条例及び芳賀町立小学校通学区域審議会条例の一部改正について
(質疑・討論なし、原案可決)

□災害弔慰金の支給等に関する条例の一部改正について
(質疑・討論なし、原案可決)

芳賀町長等の給与及び旅費に関する条例の一部改正について

□芳賀町長等の給与及び旅費に関する条例の一部改正について
(討論なし、原案可決)

芳賀町職員の給与に関する条例及び芳賀町一般職の任期付職員の採用及び給与の特例に関する条例の一部改正について

□芳賀町職員の給与に関する条例及び芳賀町一般職の任期付職員の採用及び給与の特例に関する条例の一部改正について
(質疑・討論なし、原案可決)

芳賀町都市計画税条例の一部改正について

□芳賀町都市計画税条例の一部改正について
(質疑・討論なし、原案可決)



条例改正・補正予算など

するもの。

(質疑・討論なし、原案可決)

□**議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正について**

令和元年人事院勧告に伴う国の特別職の職員の給与に関する法律の改正に伴い、議会の議員の期末手当について、12月期の支給割合を0.05月分引き上げするもの。令和2年4月からは、6月期、12月期をそれぞれ170月に改正するもの。

(質疑・討論なし、原案可決)

認定

□**芳賀町道路線の認定について**

主要地方道宇都宮向田線大塚工区の供用開始に伴い、主要地方道宇都宮向田線の旧県道部分が町に移管されるため、町道として認定するもの。

〔質疑〕 北條勲議員

(討論なし、原案可決)

契約

□**工事請負契約の締結について**

LRT事業で整備する信号設備(継電運動装置)工事の請負契約

契約金額

1億3420万円

契約相手方

東京都千代田区丸の内一丁目5番1号

日本信号株式会社

代表取締役 塚本 英彦氏

(質疑・討論なし、原案可決)

規約変更

□**栃木県市町村総合事務組合規約の変更について**

栃木県市町村総合事務組合の共同処理する事務のうち、令和2年度から新たに議員その他非常勤職員が公務災害補償事務に小山市及び小山広域保健衛生組合を非常勤の学校医等の公務災害補償事務に小山市を追加するもの。

(質疑・討論なし、原案可決)

補正予算

□**令和元年度芳賀町一般会計補正予算(第3号)**

計補正予算(第3号)

総額に7713万1千円を追加し、予算総額を97億4477万5千円とする

もの。

〔質疑〕 大根田周平議員、

北條勲議員、

小林俊夫議員

(討論なし、原案可決)

□**令和元年度芳賀町国民健康保険特別会計補正予算(第1号)**

総額に916万5千円を追加し、予算総額を19億2416万5千円とするもの。

(質疑・討論なし、原案可決)

□**令和元年度芳賀町後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)**

総額に82万円を追加し、予算総額を1億6782万円とするもの。

(質疑・討論なし、原案可決)

□**令和元年度芳賀町介護保険特別会計補正予算(第2号)**

保険事業勘定の総額に344万5千円を追加し、予算総額を15億1296万4千円とするもの。

(質疑・討論なし、原案可決)

(質疑・討論なし、原案可決)



なるほど！部課設置条例変更点





総務 常任委員会



児童・生徒・高齢者等の
交通安全対策について

視察先 群馬県桐生市

調査の目的 生活道路における歩行者等の安全な通行を確保することを目的として、区域（ゾーン）を定めて、最高速度30km/hの速度規制や規制標識や路面標示等の安全対策を組み合わせて、ゾーン内を抜け道として通行する行為の抑制を図っている先進的な実例を調査研究する。

調査の意見と提言 当町においては近年、昼間人口増加等に伴い田園型事故と称される交通事故が多く見受けられる。このような現状に鑑み、いかにして児童・生徒・高齢者等の交通事故を無くするかということが、喫緊の課題となっている。

このような状況を踏まえ、全国的に取り組み

教育民生 常任委員会



学校部活動と総合型地域
スポーツクラブについて

視察先 新潟県燕市

調査の目的 教員の働き方改革と、体力や技術の向上を目指したい中学生のニーズに応答し、部活動を補完することに特化した、公設のクラブを運営している先進実例を調査研究する。

調査の意見と提言 部活動は少子化の進行に伴い、教員数も減少し指導者不足により存続も危ぶまれる事態となっている。また、スポーツ庁から運動部活動の在り方に関する総合的なガイドラインが示され、活動時間の制限から子どもたちの要求に答えられなくなりつつある。

部活動については、教員に任せる従前の手法からの脱却が求められる今日、子どもたちの運動に打ち込みたい思いについては、学校と地域が協働・融合した形で、地域におけるスポーツ

産業建設 常任委員会



空き家対策について

視察先 福島県南会津町

調査の目的 空き家対策における現状と課題、また、適正な管理や利活用の推進について調査研究する。

調査の意見と提言 当町の空き家対策は、リフォームや解体の補助金はあるが、今後増加が見込まれる中、空き家の発生予防も含め、さらによりきめ細かな対策が必要になる。

施行された「空家等対策の推進に関する特別措置法」の定義では、建築物・付属する工作物・敷地とある。当町の「芳賀町空き地等の環境保全に関する条例」は空き地だけの条例のため、「建築物や付属する工作物」を含む条例にできないよう検討されたい。

また、現在175戸の空き家が存在するが今

議会閉会中の所管事務調査

れている「ゾーン30」を当町においても小学校・中学校等の生活道路を核として整備を行い、交通事故件数のより一層の削減と「交通死亡事故ゼロの町」を実現するため、関係機関・地域住民と連携し、住んで良かったと思われる町づくりを推進されたい。



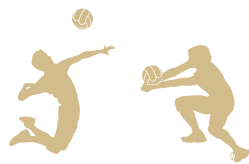
▲桐生市での視察の様子

□委員
大根田周平、江間田信一
小林信二、小林俊夫

※各委員会の所管に関する事務

総務常任委員会………総務課・企画課・税務課・会計課・議会事務局・監査委員・選挙管理委員会に関する事務
教育民生常任委員会………住民課・福祉対策課・健康増進課・環境対策課・こども育成課・生涯学習課に関する事務
産業建設常任委員会………農政課・商工観光課・建設課・都市計画課に関する事務

環境整備を進めていく仕組みづくりが求められているが、部活動を補完する役割を担うような独立採算制公設運動クラブの設立を理想とする。芳賀町の人口規模では難しいと考えられる。総合型地域スポーツクラブ設立は、運営維持に課題があり未だ実現していない。しかし、現在当町には、多くの町民が参加している充実したスポーツ教室が展開されている。町が積極的に関わりながら、部活動と対応するスポーツ教室をスポーツ推進委員とともに、部活動担当教員と指導方針や理念を擦り合わせ再構築することによって、芳賀町型部活動補完スポーツ教室とし、子どもたちのやりたい気持ちに答えられる環境実現に努められたい。



▲燕市での視察の様子

□委員
小林一男、岡田年弘、大根田弘
有坂隆志、中村由美子

後増加が見込まれる中、個々の物件について実態の調査分析、空き家の程度を数値化し、データベース化を図ると共に対策組織・対応制度の見直し、シルバー人材センターとの連携による維持管理等危険空き家の発生防止に努められたい。



▲南会津町での視察の様子

□委員
北條勲、山口菊一郎、小林隆志
岩村治雄、石川保

ここが聞きたい 2人の議員が一般質問

一般
質問

第3日目に一般質問が行われ、2人の議員が町政について質問しました。



小林 一男 議員 (7ページ)

- ① 台風19号に対して芳賀町の対応は



北條 勲 議員 (8ページ)

- ① スポットビジョンスクリーナーの導入について
- ② 災害対策について
- ③ 投票所の変更計画について



一般質問とは



一般質問は、定例会において行われ、議員が町の行財政全般にわたって執行機関に疑問点をただし、所信の表明を求めるものです。質問する議員も、受ける執行機関もともに十分な準備が必要なことから、通告制とされています。

質問時間は、1人につき質問・答弁を含め60分以内とされています。

〈次回の定例会は3月3日からの予定です〉

みんなで議会を
傍聴しましょう

議会は、はがチャンネルでも
放送します。

— 放映時間 —

会議当日 午後8時から
再放送 翌日の午後2時から





小林一男が問う

台風19号に対して芳賀町の対応は

10月12日から13日にかけて、関東地方を縦断し日本各地に甚大な被害をもたらした台風19号。芳賀町においては奇跡的に軽微な被害であったが、今後気候変動等により、台風の巨大化やゲリラ豪雨・線状降水帯停滞など、これまでに経験したことのない気象現象が起きるリスク増大が指摘されている。自治体には、町民の財産・生命を守る責務があるが、このたびの教訓をどのように防災に活かしているのか。

問 台風19号による当町被害状況は。

答 町長 県内で、死者4名はじめ甚大な被害がありました。当町では小規模溢水による農作物被害があった他、倒木9件・塀の倒壊1件でした。

問 19号接近、上陸、通過にあたり、町の対応、情報発信はどうだったのか時系列で伺う。

答 町長 12日朝から、町民会館を自主避難所として開設したことから、芳賀チャンネルや防災メールでの情報発信を始めました。洪水警報・土砂災害警戒情報発表を受け、午後8時15分災害対策本部を設置、土砂災害警戒区域に指定された下高根沢、東水沼、西水沼、西高橋の64世帯に

避難勧告を発令し、町職員が5班体制で自宅に伺い避難を呼びかけました。

問 狩野川台風並みと気象庁が警戒を呼びかけていたが、初動避難でどう行動すべきかメール等で周知できなかったか。

答 総務企画部長 気象庁の高解像度降水ナウキャストから逐次情報を得ながら、芳賀町南北筋雨量が少ないとの判断から対応していました。

問 防災メールが多数発信されたが、芳賀町の情報が記載されていないものばかりであった。今後改善の余地があると思うが。

答 総務企画部長 現在、県からの情報をそのまま流していま

す。これ以上詳しい情報となると何らかの手段を考えなければならぬので今後の課題です。

問 10月6日、防災訓練があったが、今後の課題は見つかったか。

答 町長 自助・共助の精神で、地域公民館を開放した自主防災組織もあり、町が昨年からは実施している合同防災訓練の成果だと思えます。

問 ハザードマップが配布されているが、町民の認知が低いと思われるが対策は。

答 総務企画部長 下延生の地域交流会で浸水水位を示して体感してもらう活動がありました。他の地域にも広がるよう、自治会

連合会とも相談していきたいと思えます。

問 防災士の役割は。

答 町長 平常時は、地域社会の防災リーダー。災害時には、消防・警察の公的支援が到着するまでの応急手当て、消防活動や救助活動、避難誘導など様々な活動を期待しています。





北條勲が問う

スポットビジョンスクリーナーの導入について

問 子どもの弱視を早期に発見するため

の器具の導入の考えは。

答 町長 今後、国の動向と導入した市町の情報収集をしながら検討します。

問 簡単に最低限のトレーニングで誰でも操作ができる携帯型

スポットビジョンスクリーナーが開発され、全国の自治体で導入している。検討ではなく導入はできないか。

答 町長 県等の情報や医療機関等とも相談し、検討する時間をいただきたいと思います。



▲スポットビジョンスクリーナー

災害対策について

問 ①現在の芳賀町のハザードマップは

大きすぎる。新たに作る時には、5ヶ所の避難場所単位にできないか。

②備蓄品の保管場所は河川に近い所で危険である。5ヶ所の避難場所にできないか。
③土のうを作るのに、土の確保・袋詰め・運搬は重労働である。水のう袋の考えは。
④河川等が氾濫危険水位のときの田んぼダム

⑤災害後に出る災害ゴミの仮置き場を災害前から場所を指定できないか。

答 町長 ①国では浸水想定地域の検討を始め、県土木事務所による町内の土砂災害警戒区域の見直しの後、適切な時期にハザードマップを改訂します。

②備蓄品を町民会館・生涯学習センター・水橋分館の一部を保管します。
③水害時には100袋単位の土のうが短時間で必

要になり、防災倉庫に保管している土のうが有効です。

④田んぼダムは大雨を水田に一時的に貯留し流出量を制御し、洪水被害を軽減することで

⑤仮置き場は、災害廃棄物処理計画の中で候補地を選定しますが、小学校跡地や運動場が候補地です。災害の種類や規模により災害対策本部で決定します。

問 下水道や農業集落排水施設は河川の近くにありますが、かさ上げの検討は。

答 建設産業部長 かさ上げも含め、災害に強いインフラ整備を目指します。



▲昭和61年水害時のハツ木地内の様子

投票所の変更計画について

問 投票所の場所を変更する計画が検討

されている理由は。 **答** 選挙管理委員会書 記長 投票所は高齢者や障がい者の方も

投票しやすい環境にしなければなりません。

変更が可能なのか検討をし、有権者のニーズにあった投票所の見直しをしています。

問 ハツ木と上給を統一し、世帯数が一番多いハツ木の丘に近い芳賀広域最終処分場

は、エアコンもあり研修室も駐車場も広い。この場所は検討されたのか。

答 選挙管理委員会書 記長 最終処分場

も一つの候補として考えましたが、高齢者に遠くなるので検討はしていません。



11.7 芳賀郡市議会議員 自治研修会



11月7日、真岡市フォーシーズン静風で芳賀郡市議会議員自治研修会が行われました。

講師は、野村総合研究所顧問の増田寛也氏で、「地方創生がひろく未来」というテーマで講演を聴きました。



11.21 栃木県町村議会 議員研修会



11月21日、県自治会館で栃木県町村議会議員研修会が行われました。

講師は、早稲田大学マニフェスト研究所事務局局長の中村健氏とアイリンブループロジェクト代表の菅原淳一氏で、中村氏から「住民に期待される議会になろう!」、菅原氏から「その時救われる命のために～奇跡の花の物語～」というテーマで講演を聴きました。

12.12 自治会連合会と 議員の懇談会を開催



12月12日、道の駅はがで自治会長と議員の懇談会が行われました。議会からは、各常任委員会の閉会中の所管事務調査の報告を行い、各自治会長から議員に対して多くの質問がありました。その後、自治会連合会から視察研修報告を受けました。

1.16 芳賀北部広域行政 推進協議会研修会



1月16日、芳賀郡内4町の正副議長、各常任委員長で構成されている芳賀北部広域行政推進協議会の視察研修会が、大田原市議会で行われました。大田原市議会では県内でいち早く、平成27年からタブレットを使用し情報の共有、会議資料のペーパーレス化などの議会運営に取り組みられていました。



北海道大空町議会 産業建設文教常任委員会



▲農工商の調和について説明をうける
大空町議会・産業建設文教常任委員会の皆さま

11月13日、北海道大空町議会産業建設文教常任委員会の9人が「農工商の調和と躍動の町づくりについて」の調査のため来町しました。町では、小林俊夫副議長、山口菊一郎産業建設常任委員会副委員長が出席し、商工観光課商工観光係と都市計画課市街地整備係の担当職員が工業団地の造成による企業誘致の状況と商業集積地の造成等による住環境整備の取り組みについて説明しました。

福島県鏡石町議会 厚生常任委員会



▲交通弱者等の対策について説明をうける
鏡石町議会・厚生常任委員会の皆さま

11月18日、福島県鏡石町議会厚生常任委員会の7人が「交通弱者等の対策について（デマンド交通事業等について）」の調査のため来町しました。町では、小林俊夫副議長が出席し、都市計画課公共交通係の担当職員がふれあいタクシーひばりの運行方法、利用の状況などについて説明しました。その後、モテナス芳賀内の「ひばりタクシー予約センター」を視察しました。

茨城県利根町議会



▲廃校の利活用について説明をうける
利根町議会議員の皆さま

1月21日茨城県利根町議会議員の7人が「廃校の利活用について」の調査のため来町しました。町では、小林信二議長、大根田周平総務常任委員長が出席し、総務課管財係と生涯学習課長が生涯学習センターを廃校施設として有効活用するまでの経緯等について説明しました。



かのう いぶき
狩野 息吹さん
(祖母井)

芳賀町の「つながる」未来

元号が「令和」と改まりその年に、私は成人を迎えました。私たちの暮らし方や働き方、社会の在り方そのものを大きく変える時が来ています。

私は家から眺める公園の大きな樹や一面の田園風景、夜空には沢山の星が輝く、そんな自然豊かでのどかな芳賀町が大好きです。

ただ高校進学後、宇都宮市内への通学・部活動など親の車を頼らざるをえず、親も仕事をしながらの送迎は大変だった事と思います。

現在は町を出て東京の大学に通っていますが、都心の交通網、アクセスの良さはすばらしく、電車に乗れば速く簡単に目的地まで移動ができてしまいます。

私はずっとLRTの開通を待ち望んでいました。芳賀町はのどかなままであってほしい、けれども他の地域とつながる事で利便性を上げ、住む人の生活を豊かに変える必要があると思います。

大好きな芳賀町の「つながる」未来をととても楽しみにしています。



せきぐち たくみ
関口 拓実さん
(芳志戸)

成人としての決意

東京オリンピックが開催される年、そして令和最初の成人式を迎えることができたのは、家族、地域の皆様、そして親身に正しい道へと導いてくださった恩師の方々の力があつたからです。この場をおかりして感謝を申し上げます。

さて、近年自然災害による被害が増えています。私も防災について、自分が出来る事はないかと考え、町消防団への入団を決意しました。「自分たちの町は自分たちで守る」を胸に町民の生命、財産を守るため、最善の努力をしていきたいと思っています。皆様のご指導をいただけますようよろしくお願いいたします。

芳賀町は、今後LRTの導入、新産業団地の造成、住宅地の造成分譲等大きな事業が行われていきます。より住みやすく魅力的な町になる事を期待しています。



いとう みきと
伊藤 海里さん
(東水沼)

地域で生きる

中学校に入学する際に、仙台から引っ越してきて、芳賀町に住みもうすぐ9年になります。

芳賀町の良さ、強みは「地域のつながり」だと感じます。お互いが気に掛け合い、助け合い、共に生きています。祖母の家からは、近所の方たちの楽しそうな会話がいつも聞こえてきます。顔を合わせると「おはよう」「おかえり」と声を掛け合っています。そんな時に、共に生きているという安心感に包まれます。

しかし、私たち若者の地域とのつながりは、希薄になっていないでしょうか。

「地域共生」が現代社会のキーワードになっていますが、子どもから高齢者まで安心して暮らせ、一人一人の「居場所」がある地域を守っていく責任が私たちにはあります。積極的に地域に貢献していくことによって、更に魅力的な芳賀町になっていくことを願います。

議会日誌

11月

- 7日・総務常任委員会
- 9日・芳賀郡市町議会議員自治研修会
・総務常任委員会
- 10日・町民祭・梨の里マラソン
- 13日・町村議会議長全国大会
・北海道大空町議会行政視察来町
- 18日・福島県鏡石町議会行政視察来町
- 19日・例月現金出納検査
- 20日・芳賀中部上下水道企業団例月出納検査
・国道123号改修促進同盟要望活動
- 21日・県町村議会議員研修会
・産業建設常任委員会
- 22日・議会運営委員会
・議員全員協議会
・教育民生常任委員会
・商工会と芳賀町工業団地連絡協議会との交流会
・芳賀郡市町議会議長会定例会
- 24日・芳賀町剣道大会
- 29日・第5回芳賀町議会定例会（～4日）
・教育民生常任委員会
・議会広報常任委員会

12月

- 12日・自治会長との懇談会
- 15日・はが路ふれあいマラソン
- 20日・例月現金出納検査
・芳賀中部上水道企業団例月出納検査
- 23日・農業委員との懇談会
- 25日・芳賀地区広域行政事務組合議会定例会

1月

- 6日・御用始め式
- 8日・新春賀詞交歓会
- 12日・成人式
・消防団新年懇談会
- 15日・議会広報常任委員会
・町国民健康保険運営協議会
- 16日・芳賀北部広域行政推進協議会研修会
- 17日・芳賀中部上水道企業団例月出納検査
- 19日・かがやく町民のつどい
- 21日・茨城県利根町議会行政視察来町
- 22日・例月現金出納検査
- 23日・議会広報常任委員会
- 24日・県自治会連合会長研修大会
・芳賀町工業団地連絡協議会賀詞交歓会
- 27日・芳賀郡市監査委員研修会
- 29日・徳島県北島町議会行政視察来町
- 31日・町農業振興対策推進協議会

議場コンサートを 開催します

お気軽にお越しください。

日時

3月3日(火)

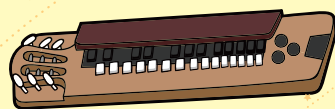
9時10分～

9時40分

出演者

大正琴

琴芳会



編集室

昨年は台風19号の襲来により県内各地に甚大な被害が発生しました。被災された皆さまに對しまして、一日も早く復旧・復興ができますよう心からお祈り申し上げます。

芳賀町を流れる五行川流域でも、昭和61年の台風の際に洪水が発生したため、栃木県は芳賀町と旧二宮町（現在真岡市）、併せて約59ヘクタールの遊水地整備に着手しました。

今回の台風19号においては、

増水した五行川の水を遊水地に貯留できたことと、流域の圃場整備事業で区画された水田による洪水緩和機能の効果があつたと真岡土木事務所では分析しているようです。

これからも「はがの大地」を遊水地と大区画水田による洪水抑制効果に期待したいものです。

■議会広報常任委員会

委員長 岡田 年弘
副委員長 山口菊一郎
委員 江間田信一
委員 小林 信二
委員 小林 俊夫

